

祝
神戸っ子
13周年
KOBECO 13th

株式会社太陽神戸銀行

取締役頭取 石野信一

神戸市生田区浪花町五六
電話本店(078)333-118101

竹馬産業株式会社

取締役社長 竹馬準之助

神戸市生田区元町通三丁目四五三
電話(078)391-116651

玉井商船株式会社

取締役社長 玉井操

神戸市生田区明石町四四
電話(078)333-11601

ビオフェルミン製薬株式会社

専務取締役 小野忠雄

神戸市長田区二番町二丁目一(番地
電話(078)575-15501代)

兵庫日野自動車株式会社

取締役会長 後藤末二

神戸市生田区相生町二丁目三三三
電話(078)351-1238(大代表)

住友信託銀行神戸支店

取締役支店長 酒井督介

神戸市生田区栄町通一丁目二番地
元町・大丸西向い
電話(078)332-1113(大代表)

小泉製麻株式会社

取締役社長 小泉徳一

神戸市灘区新在家南町一丁目三の一
電話(078)841-14141

日本香料薬品株式会社

取締役社長 小野一夫

神戸市葺合区脇浜町三丁目三の二
電話(078)232-11975代

兵庫トヨタ自動車株式会社

取締役社長 瀧川勝二

神戸市葺合区磯辺通四丁目七の二三
電話(078)251-15151

UCC上島珈琲(株)本社

代表取締役 上島忠雄

神戸市生田区多聞通五丁目三
電話(078)341-1366(大)

祝
神戸っ子
13周年
KOBECO 13th

正興産業株式会社

取締役社長 秋田博正

西宮市久保町二の一多聞ビル
電話 (0798) 23-11270-1

柏井紙業株式会社

取締役社長 柏井健一
神戸市生田区加納町四丁目二番地
電話 (078) 332-1360-1

石野証券株式会社

取締役社長 石野成明
神戸市生田区栄町通一丁目八の二
電話 (078) 391-1000-1代

ウシオ工業株式会社

取締役社長 牛尾吉朗
神戸市兵庫区浜辺通五丁目二の一
神戸商工貿易センタービル18F
電話 (078) 2251-1655-1代

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎俊作
神戸市兵庫区旗塚通六丁目三-1-10
電話 (078) 231-1332-1

乾汽船株式会社

常務取締役 乾英文
神戸市生田区海岸通八番
電話 (078) 331-1336-6

光印刷株式会社

取締役社長 南部圭三

西宮市津田町三丁目六
電話 (0798) 361-1551

角南商事株式会社

取締役社長 角南猛夫
神戸市兵庫区小野柄通八丁目一番
三宮ビル8F
電話 (078) 251-1551-1

近藤忠商事株式会社

代表取締役 近藤忠吉
神戸市生田区加納町二丁目三〇
電話 (078) 231-1432-1

神戸船渠工業株式会社

取締役社長 玉井新吉
神戸市兵庫区西出町三三九番地
電話 (078) 671-1330-1代

祝
神戸っ子
13周年
KOBECO 13th

島文工業株式会社

取締役社長 島田文六

神戸市灘区岩屋中町四丁目二の七
電話 (〇七八) 八七一一五二八一

関西貿易株式会社

代表取締役 竹田剛男

神戸市兵庫区出在家町一二五
電話 (〇七八) 六七一一六〇二一

樽本産業株式会社

取締役副社長 樽本久

神戸市兵庫区川崎町九三
電話 (〇七八) 六七一一六三九七

泉酒造株式会社

取締役社長 泉仙介

神戸市東灘区御影塚町一丁目九の六
電話 (〇七八) 八二一一五三五三

株式会社淡路屋

取締役社長 寺本淳巳

神戸市生田区相生町一 神戸駅構内
電話 (〇七八) 三五二一一六八二

三宮ビルディング
森本倉庫株式会社

取締役社長 森本楨二
(三宮ビル事業部)

電話 (〇七八) 二三二一九三八一

株式会社熊田工務店

代表取締役 熊田惟夫

神戸市葺合区琴緒町五丁目二の二
協和ビル4F・5F
電話 (〇七八) 二四一一八八八八八代

神戸金型工業株式会社

代表取締役 木津雅敏

神戸市長田区東尻池町三丁目一十五
電話 (〇七八) 六八一一一二二二二代

株式会社大窪鐵工所

代表取締役 大窪馨

神戸市兵庫区塚本通三丁目十一の五
電話 (〇七八) 五七五一〇〇八一代

株式会社健乳舎牧場

代表取締役 奥和夫

神戸市兵庫区塚本通三丁目十一の八
電話本社 (〇七八) 五七五一〇〇八一代

祝
神戸っ子
13周年
KOBECO 13th

オールスタイル株式会社

取締役社長 川 上 勉

神戸市生田区伊藤町一二一
電話(078)321-1211

株式会社リーベ
代表取締役 飯 田 守
神戸市葺合区磯辺通一丁目二
電話(078)251-1353

株式会社ファミリア

取締役社長 坂 野 通 夫

神戸市生田区西町三六
三井信託銀行
ビル8F

電話(078)321-10345

株式会社ワールド

取締役社長 畑 崎 廣 敏

神戸市葺合区八幡通四丁目三五の一
電話(078)251-1531

ニッシン株式会社

代表取締役 酒 井 利 保

神戸市葺合区生田町一の一
電話(078)233-1160

神戸地下街株式会社

代表取締役 宮 崎 辰 雄

神戸市生田区三宮町一丁目一番地
電話(078)391-1402

凸版印刷株式会社

常務取締役 関 西 支 社 長 田 中 貞 司

大阪市福島区海老江上四丁目二三
電話(06)458-12251

祝
神戸っ子
13周年
KOBECO 13th

菊正宗酒造株式会社

有限会社
クレセント・インターナショナル

取締役社長 嘉納毅六

神戸市東灘区御影本町一丁目七の一五
電話（〇七八）八五一一〇〇〇一

代表取締役 王柏林

株式会社兵庫相互銀行

取締役社長 長谷川寛雄
神戸市生田区三宮町一丁目六五
電話（〇七八）三三一一八一五一

株式会社神戸日建

取締役社長 小野原啓次
神戸市葺合区御幸通三の一
電話（〇七八）二五一一三五二五

株式会社マツダオート兵庫

取締役社長 橋本重雄
神戸市兵庫区湊町三丁目三
電話（〇七八）五七六一五〇六一

兵庫ボルト産業株式会社

代表取締役 中野賢治
神戸市長田区梅ヶ香町二丁目七の五
電話（〇七八）六七一一四八八七一九

麒麟麦酒株式会社神戸支店

支店長 松下親次
神戸市葺合区御幸通四丁目八の一
電話（〇七八）二五一一八一五一

ワシオ産婦人科診療室

室長 鷺尾隆
神戸市生田区元町通一丁目二〇の七
石原ビル
電話（〇七八）三九一一五九一九

金露酒造株式会社

代表取締役 大塚和三郎
神戸市東灘区魚崎南町五丁目五十四七
電話（〇七八）四三一一六三五四

神戸テレフォンサービス株式会社

代表取締役 山下駿児
神戸市葺合区生田町二丁目四
電話（〇七八）二四一一八八八一

三題 隨想



〈白天神雛／橋本武氏所蔵〉

郷土人形の生産目的が、初節供の雛段飾りに集中しているせいもあって、郷土雛は割に集めやすいはずのものなのだが、全国的に見ると、農村地帯での雛祭りには、男女雛の飾られることはむしろ稀で、一般に天神雛が幅を利かせており、作品にも秀抜なものが数多く見られる。

出雲地方に、"白天神"という立派な天神雛がある。久しい以前から廃絶して、収集仲間の垂涎的であり、幻の人形のように思われていた。たまたま春休みの旅行で出雲へ行くことになり、親しくしている卒業生の紹介で、天神飾りを見せてもらった。私と同年の素封家のお宅であったが、掃除の行届いた奥座敷の、明るい障子の光りをうけた十体ばかりの天神には、落ちついたすがすがしさがあり、静かな農村の空氣によくマッチしていた。

この天神雛は、男女児ともに初している。

私が郷土雛のコレクションをはじめるようになったのも、それほど深い理由があつてのことではない。戦後世の中が落ち着いて、自由な旅行が楽しめるようになつた時、押入れの片隅から見つけだした天神人形に、曾て抱いた郷土玩具への興味をよびもどされたことが、直接の動機といえどいえる。



私設人形館「青蛙館」での橋本先生

節供の祝いものとされ、男児の場合には張子の馬、女兒の場合には女雛を添えるのだと聞いたが、女雛との共飾りは実際には見てい。張子馬は台車とともに三十七セントほどもある立派なもので、台車に仕掛けがあつて、曳くとビンビンと音を立て、首を上下に振るようになつっている。それで子供の懐みになつてこわされることが多い、私が入手できたような、完全な姿で残っているのは極めて少ない。

白天神は出雲独特のもので、松江から米子あたりへいくと赤ものになつてしまふ。十年ほど前に、倉吉製の赤天神が二百個ほども雛市で売られたことを聞いたが、天神雛の泥くさい素朴な美しさは、ふるさとを失つた都会の収集家を喜ばせはしても、逆に都合風に染まりつつある土地の人の興味と関心を失いつつある。

地方色豊かな手作りの郷土雛、たとえば鹿児島の糸雛、壱岐や甘木の八朔雛、鳥取の田舎雛のたぐいは、好事家の好奇心を満たすためだけに復元されたといつてもいい。鳥取の市中や用瀬に残る流し雛の風習も、季節になればニュース写真などで目にすることも多いが、演出臭の強いのはどうもいただきかねる。

もうだいぶん以前のことになる

が、春の旅行で泊り合わせた紀州
路の民家で、薄光の居間の用簾筈
の上に土の女雛を一体だけ飾り、
それに菜の花が供えてあったのを
見たときの深い感動を、私はいま
だに忘れることができない。

心と口と

行いといのち

菅野 聖子



（論家）

調子が良すぎた。あまりにも。
正六角形の対称が何百万。

ドアしめて。鍵しめて。

バチヤンとして。

切り落したワンピースのもよう
を数えた。

「ひよつとしたら？」

「ピツタカピツタカ
プリプリプリイツ」

「あまいよ。

あまいよう。カナリヤの羽」

「ね。おぼえたの？ おぼえない
の」

「だいたいおぼえた」

「きよう、うちわのような葉っぱ
作ったの」

「いちょうでしょ？」

「開いてみたらちようちよ
もひとつつくりたい」

「もう出来ない」

「走れ!! 走れ!!」

マフコの左手にひもをむすぶ。
「チヨビチヨビあるいてもいいの
よ」

「引き合って。ぶつかり合って。
正六角形の対称が何百万。

「こっちのレンゲがきれい」

「こっちのレンゲがきれい」

「四丁目の角まで行つてこい」

「パンヤの角まで行つてこい」

「さうりをはいて、

「あたし、大きくなつたら、ハイ
ドンのお嫁さん。ハイドンのお嫁
さん。ハイドンの……」

「プリプリブリイツ。」

「一丁目のベンチで蟬が鳴く」

「俺は六丁目の停留所」

「切符あげる」

「あつ。逃げちゃつた。逃げた」

「蟬の馬鹿」

「アブラー一匹。クマ一匹。ニイニ
一匹」

「どうしてくれるのふられ役」

「とどのつまりは指くんで。」

腕でつくつたU字形。

しづかにおろしてさようなら。
とたんに。

「おーう。

ジニジニジイニイ。ジニ」

野原にうつた飛行機の影、捕
虫網でつかまえた。

「四丁目の角まで行つてこい」

小雪の道をひた走る。

五叉路に立つての四面鏡。

明白な事実と、謎の季節のひし
めく中で、わたしは今生まれたの。

故宮博物院と 花時計

青木 重雄

（鳥飼美術館）

昨秋明石・千尋窓の小倉尋富さ
んらと共に台湾へ行つた目的は、
もちろん故宮博物院はじめ國立歴史
博物院、中華博物館（私立）など
の美術館や地元の諸窓を見学する

ためだつたが、着いてみてその自

然の美しさと日本とあまりにもかけ離れた静かな各地のたたずまいに驚かれて、こうした、いわば日本の大正末、昭和初期にも似たいくぶんのんびりムードがまだ近隣の国に残っていることを感じただけで内心のうれしさを隠すことができなかつた。

故宮へさっそく名品拜見と出かけたが、無数に並んだ絵画、玉、陶磁、青銅器の中でもやはり私自身の大好きな陶磁のみこと、特に宋代の青磁のすばらしさにあつと息を呑んで我を忘れた。かねて予期はしていたものの予想を越える美しさに中国青磁についての認識を再び改めねばならぬと反省させられた。小山富士夫氏や谷川徹三氏などがかねて激賞していたが、あの北宋汝官窯の青磁器の牙え切つた淡藍色の美しさは、全く神秘的なトーンにあふれた名工の至芸の結晶といえる。鉄袖と還元炎と



孔子廟での筆者

陶工の執念が生んだ絶妙の神品である。わが国にも一点ほど将来されているが、世界に残る三十余点のうちの二十三点が故宮に集まつているのだから、世界陶磁の誇りと呼ばれるのは当然である。漢代以来の中国の歴史の中でもこれほどの逸作は他に求められない。このことを如実に味わうことができただけで、台湾行きの成果は十五バーセント果たされたも同然だった。青銅器群の各種各様の陳列ぶりも印象的だったが、私の勤務する白鶴美術館の緑青のすばらしい百余点の精品を見慣れているだけに、青磁ほどの感嘆の念は起らなかつた。

汝青磁得て 何もいうことなし
秋の院

次ぎに私は台北の陽明山陽明公園（山岳公園）に登つてみて、この清明な自然の美しさと静けさに、前にも言ったように完全に心を奪われた。蔣總統用の会場を取り巻く公園にはいたるところ黄色いコスモスや（残念ながら名不明）真っ赤な花々が咲き乱れ、あちこちの谷間では小滝がキラリと光り流れ落ちる。それにゴミや紙くずのないこと。もつとも「十元（約七十円）の罰金」という注意書きこそあつたが、日本中ほとんど公園や山々に塵埃が捨てられて

いることを思い出して、「文明国」の現実がいまさら悲しく考えられた。ただ一つ、わが神戸市との共通品があったのは花時計を見つけたことだ。市役所横のものより一回り大きく、周囲に水をたたえた時計で、台湾行きの成果は十五バーセント果たされたも同然だった。青銅器群の各種各様の陳列ぶりも印象的だったが、私の勤務する白鶴美術館の緑青のすばらしい百余点の精品を見慣れているだけに、青磁ほどの感嘆の念は起らなかつた。

秋雨いま ひそかに過ぎり 花時計

最後に孔子廟について一言触れておきたい。最近中共の周首相が孔子の思想はまつ殺されねばならぬ——といったとか報道されたが、批判はとにかくこの廟の清潔なたたずまい、廟の色彩の美しさは印象的だった。台湾には極彩色の寺院は他にいくつもあるが、屋根、堂廟、白い庭、細い参拝道などが織りなす構成美は日本ではあまりお目にかかれないので異國風の寺院風景である。ただ、門をはいった通路に沿つて大陸反抗への立て看板がすらりと並べられているのを見て、「戦中呼称」の現実に引き戻されたしだいだつた。タイペイから淡水、金山、基隆への牧歌的見物も楽しかつた。

■ある集いその足あと

コーベ・カメリア

ソサエティ

樽本清
(コーベ・カメリア・ソサエティ幹事長)



昨年秋のツバキ展で丹精のツバキをめでる

評価がいかに高いかを証明していると私たちはうぬぼれています。特に、国際ツバキ協会会長、イタリアツバキ協会会長を客員に擁し、神戸の誇る生け花芸術家・小原豊雲家元が本会の名誉顧問であることでも私達の自慢のタネです。

毎年三月末か四月第一週の土、日曜、県民会館の大ホールでツバキ展を開き、秋は、会員同志の親

交を深めるのに重点を置いた秋のツバキ展を開いています。女性会員の多いためか、華やかでとてもアットホームです。ツバキの話がいつのまにやら嫁やり、婿とりに発展? することもしばしばです。春のツバキ展は花も多く

バラやボタンの花のようなツバキをみて「これツバキですか」と驚く方が多いのは、ちょっと誇らしいような気持と、ツバキの花をあまりにもご存知ない悲しさで複雑な気持にさせられてしまします。ツバキと同じツバキ科に属するサザンカが神戸の市花に選ばれたのも、うれしいよう悲しいような、うれしい気持は当然として、悲しいのにはちょっとワケあります。まず一つには、宝塚市が神戸と zwar 数年早くサザンカを選んだことで、後陣を押しているようですが、ツバキそが悪い。さらには、六甲の三名花にツバキが入っていないなら、なぜツバキを選ばなかつたの

かと、本当にくやしい思いをしました。日本の生んだ花木の女王は世界的にみてもサザンカよりはツバキでしょう。欧米・太平洋州ではものすごいカメリア・ブームで、毎年新花が続々と誕生しています。黄色いツバキ、青いツバキ、芳香を放つツバキ、ツバキは世界の人々を、再び魅惑はじめています。

私たち会員の間では中国原産のトウツバキを愛育することが一つの夢で、そのうちの幾十種類かは実際に育てられています。KCSの会長・安藤芳穂さんは世界的な権威者で、勢いKCSは日本のトウツバキのメッカとなりました。

茶花として発達してきたワビ、サビの花・ツバキも、ファッショナブルなマチKOBEでは夜会の花、サロンの花として変身しつつあります。私たちはチヨンマゲ時代そのままのツバキを否定しない。でも、けつして満足しております。せん。洋風化指数¹のKOBEで独り、ツバキだけが百年も、二百年も前のままでとどまることは、風土が許さないともいえます。ともかくKCSは、けつしてむずかしいことを論じる会ではあります。あくまでもツバキをなからだちに、ワイワイ楽しむ会です。

いかがです、あなたもJoin KCS!

私たちのコーベ・カメリア・ソサエティ(KCS)は会員一五〇名。神戸阪神間のツバキ愛好者を中心、北は秋田、新潟から南は大分、熊本まで日本全国に及んでいます。KCSは、地方にありながらもKOBEというインテリナショナルな都市の性格を反映して、最もナウな会、ユニークな会として、日本の数あるツバキ愛好団体から一眼おかれています。中

国、韓国、オーストラリア、イギリス、イタリア、ニュージーランドなどに会員を持つのはKCSの

熊内本社壳店

誕生



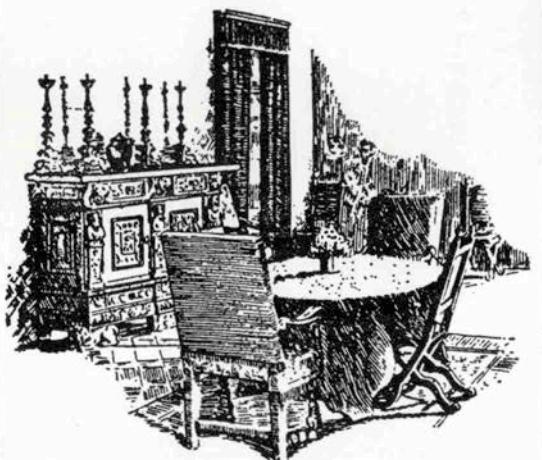
真心こめたおくりものに
パウムクーヘン・クッキー・各種洋菓子

北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市東区熊内町1(市立美術館東隣) 221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) 331-2421
■さんちか店、神戸大丸、そごう、阪急店、三越・元町店、神戸デパート内

49

欧風家具・婚礼家具



設計・創作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目 大丸前 TEL神戸(391)3737
(代表)

東京店・東急百貨店{日本橋店内6階 TEL03(211)0511
(本店(渋谷)7階 TEL03(462)3180

工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木工センター TEL(078)706-5913

早春譜

楠 本 憲 吉

△俳 人△
え・貝 原 六 一

（行動美術協会会員）

春は名のみの風の寒さや。

谷の鶯 歌は思えど

時にあらずと 声も立てず。

時にあらずと 声も立てず。

「足長き少女に習う早春譜」という作者の名は
忘れたがそんな句があった。この「早春譜」の作
詞者は吉丸一昌。作曲は中田 章。大正二年二月
の作で『新作唱歌(三)』にのつっている。

吉丸一昌作詞の『新作唱歌』は全十冊、明治四
十五年から大正三年までの間に出版され、後年の
童謡運動の先駆となるものであった。その中でも
この『早春譜』は、梁田貞作曲の『お玉じやく
し』とともに著名で、今でも小学唱歌として歌わ
れているのである。



さて、二月四日の立春を過ぎると暦の上ではも
う春である。しかし、現実はまだまだこの歌どお
り「春は名のみ」であつて冬の真最中を思わすき
びしい寒さが続いている。

日本人の古い考え方は、暖かくなつたから春が
くるのではなく、暦の上で春が来るから暖かくな
るのである。現実の自然よりも暦尊重、暦優先の
生活であつたわけだ。

けれども自然界ではひそかに春の陣痛が始まつ
ている。ウメは早くもひらき始め、ジンチヨウゲ
のつぼみが顔を出す。

そして立春後にはじめてやつてくるお客様が
「春一番」である。日ましにつのろうとする南の
暖気と、いつまでも居坐ろうとする北の寒気と
が、日本海で大げんかをするのが日本海低気圧で

ある。

俳句に「日脚伸びると」という季語がある。冬至をすぎると、一日に畳の目一つづつ日脚がのびることをいって、微妙な感覚の季語である。

日脚伸び今年為すこと多きかな

虚子

阪急沿線の岡本には山麓梅林があつて、梅見客に脈わつたものだが、次第に枯れていつの間にか姿を消し、宅地になってしまった。昭和五、六年がピークではなかつたか——。その頃、私は小学生で、岡本駅前で「灘萬」という食料品店を父がやつており、食堂もあつて、梅見頃には凄く混雑したことを覚えていた。どういうわけか親子丼が飛ぶように売れていた。

神戸の早春といえば私はすぐ“山火事”を思い出す。

国鉄摂津本山駅あたりから、北に六甲山を見るとい、黒い山脈の中腹に一点だけまたいている灯が見えるに違ひない。あれは保久良神社の常夜燈で、昔から“灘の一つ火”といつて上代から航路標識として親しまれてきたものとされている。

昔から地元の氏子が天王講を作り今なおこの火を絶やすことなく灯しつづけている。

保久良神社の保久良は火の倉をあらわすところから出た言葉で、どんな激しい山火事に襲われてもこの保久良神社だけは焼けないという信仰が村民にあった。

私はこの保久良神社の氏子の一人として少年時代を送つたのであるが、何度も山火事を見、事実、神社のすぐ裏まで火が迫つてきたことも何度も

かこの目で見ている。——

私の母はこの保久良さんの大変な信者で、何かことがあると、金鳥山の中腹、標高百八十二メートルのこの神社へ約一キロの山道を歩いてお参りしたものである。私が出征中は毎朝五時に起きて私の武運長久を祈り雨の日も風の日も参り続けてくれたのであった。

私の願いはこの神社の境内に母のための鎮魂の句碑を建立したいことである。句の方はもう出来ているが、中々決行出来ないでいる。神主の猿丸さんからも内諾は得ているのだが、物理的な理由で足踏みが続いているのである。

句は、

秋かぜの山脈おのが影いだく

である。

今年こそぜひ決行の年でありたいと年頭に念じたのであるがさてどうなることやら——。

山眠る

といえば冬の季語。

春は「山笑う」である。六甲の山々の眠りが醒めて微笑みを取り戻す頃、私はひとりで保久良神社に登り、亡き母の魂と対話したいとも念じていられないが……。

ふるさとの山と母——月並みな取り合せかもしれないが……。

亡き母いまも歸める如し千大根

私は母を想い、母を忍んだ句が意外と多い。

花限の屋根の下

村上 常一朗



〈村上華岳の身帰の不動尊/石野貞雄氏所蔵〉

戦前の花限というところはなかなか情緒のある街だったようと思う。言わば私の幼年時代の思い出というわけである。父華岳が京都での画壇生活を断ち切り、芦屋のアトリエも閉じて花限に帰つたのは、昭和二年養父の五郎兵衛が死去し家督をついだときのことである。それまで、つまり大正の終り頃の私たちの生活は何と言つても京都が大部分で時々、芦屋と花限へ泊りがけで出向いてきた。大正末期と言えば、美術品の経済的価値が高まり、大資本の百貨店は競つて美術部を設け市場を拡大させていた時代である。父の属していた国展もまさしく最盛期であつて、大正十四年には第

二部(洋画)を設け会員として梅原龍三郎、川島理一郎らが参加し、評議員では川路柳虹、田中喜作、福原信三が名をつられる有様であつた。今の国画会の母胎である。

京都時代の父は無類の散歩すきだつたようだ。両親と一緒に街をぶらぶらと歩いた記憶は鮮明である。しかし最後は新京極の秋田屋で絵葉書を買ってもらつて、母と二人だけ先に帰宅することが多かつたようだ。母からの文書では画家仲間の交際が拡がるばかりで、勉強も画を描く時間も収入も減るばかりであつたと言う。夜の野つ原を渡つてくる咽声が夢うつつのなかできこえる。甲

高いが抑揚がよくきいた声である。それは父のうたう常盤津なのであつた。同志たちとの談論風発、それは波光や紫峰や麦懲であろうが上氣謙になつて、いた父は、ひとしきりに母にジョットオやラファエルの画集を前にして制作の抱負を夜おそくまで語つたそうである。

私は母に伴われて京都から花隈や芦屋によく出かけた。その当時は東海道線もまだ蒸気機関車で京都から随分と時間がかかつたようだ。汽車のなかで信玄袋から取り出される手作りの弁当の冷え切つたつめたさがうまかっただし、母と一緒にいる人力車がたのしかつたことを憶えている。花隈では何と言つても初孫であつた私が主客で大いに歓待をうけた。花隈の屋敷はさして広いものではなかつたが門構えだけは昔日の庄屋の風格を偲ばせた。前庭に大きなあんずの木があつて季節には美しい花を咲かせた。身軽な私はよく木登りをして、たぐみに屋根によじのぼつた。登つたり、乗り越えたり、下つたりする屋根の形状は思いのほか複雑で位置の見当を狂わせた。思いもかけないところに空間が出現する。確めるにそれが平素親しんでいる中庭であつたりするのである。屋敷の周囲を店子の長屋がとりまき、そこには若い芸者さんばかりが住んでいた。だから屋根づたいに彼女たちの二階の窓辺に近づくことができるわけであつた。驚いた顔付で「華岳先生の坊ちゃんや」と言つて窓越しに彼女たちの部屋に招じ入れられるのであるが、ここでも私は主客で小さな探険家は大いに歓待をうけた。饅頭などを御馳走になり今度は下足を借り何喰わぬ顔で帰館するのである。所有者不明の下足が増えて女中が困つて

たことを思い出す。女たちの飼つている猫をつれ帰つて虐待したことから、この私の小さな探険は露見してしまつた。祖父も父母も別にとがめる風でもなかつたが、子供心にもやはりやめた方がよさそうな気がした。

花隈の屋敷は紙襖や板戸の至るところに絵がかけてあつた。それらはすべて華麗な花鳥画であつて養父の命で父が描かされたものである。同時にそれは養父の自慢のひとつでもあつたわけである。床の間には『竹数に狸』が長い間かかつたままであつた。文展の落選作であつたが技巧の熟達した素直な作品であつた。飾りつけはそれだけではなかつた。ティツィアーノやボティチエリ、アンゼリコの大きな複製画までがかけられた。養父はその絵を指差しながら、貝殻から生まれてくるヴィナス誕生や受胎告知の意味を客に解説したそうである。養父は庭の一部に離れ屋敷を増築し、そこを華岳の画室にあてるつもりであつた。しかし養父は華岳の膨大な蔵書や仮張りや大きな絵具箱、ひとかかえもある絵具皿、石膏像などを見てからは口を閉じてしまつた。結局離れ屋敷は無用となり物置の役しか果さなかつた。そこには華岳の蔵書の一部が積み上げられるだけになつてしまつたが、それを手にとりながら、養父は変つてゆく時代を敏感に膚で感じとり、素直になつていていたのである。

養父が死去すると父は直ちに建具屋を呼び、紙襖や板戸を取替え、自分の絵を一切合切、見事に焼きすててしまつた。それは何か執念めいた処理の仕方だったそうである。

偉せはぐくむ
さわやかショコラ



うららかな春の光にさそわれて
陽なたぼっこの昼下り
クインペルが伝えるあたたかさ

quimper
クインペル

Goncharoff

おんざら庵



きものと細貨
おんざら庵

神戸

西 店/三宮センター街・電話 331-8336(代)

東 店/三宮センター街・電話 331-0629

三宮店/さんちかタウン・電話 391-4303

東京

銀座コア店/4階着物コア・電話 573-5298(代)

渋谷東急店/5階和装名家街・電話 462-3409(直)

日本橋東急店/4階和装名家街・電話 211-0511(代)
(内線294)

池袋パルコ店/4階着物小路・電話 987-0561(直)